

町長／皆さん、こんにちは。

一同／こんにちは。

町長／今日は、伊達町に対する皆さんの率直な意見をお聞きしたいと思います。要望、批判、提案など日頃考えていることを自由に話して下さい。



佐藤 誠君 中学3年生
生徒会長とバスケットボール部長を務める人気者。

とても気になります。ほかの町だと、通り沿いにゴミ箱を設置してあるのをよく見かけますが、伊達町にはまだ少ないみたいで…。デザインもオシャレなゴミ箱を町のあちこちに置いたら、ゴミも少なくなるし、見た目もきれいになると思います。

小野／伏黒地区には砂利道が多くて…。舗装路にしても、街灯にしても、もっと増やして欲しいなあ。

町長／なるほど。皆さんから道路関係のお話が出ましたが、交通体系の整備は町づくりの重要な課題のひとつでもあります。これからは積極的に取り組んでいきます。

さて、皆さんは今の伊達町を色に例えると何色だと思いますか？

佐藤／う～ん、むずかしいなあ。

井石／私も、伊達町と言えばコレしかない、というようなはっきりしたものが無いと思うので、色も想像しにくいですね。

町長／うん、確かにそうだね。実は私も、はっきりした色を感じられない時があるんです。特に気候が厳しい冬などは、ちよっぴり寂しいイメージもあるしね。しかし、春はまさに桃源郷のような美しい町になるでしょ。桃の花が一斉に咲き乱れて。

絢／私はやっぱり桃色かな。町の自慢のモモとかリンゴとかのイメージで。

では、まず今の伊達町について、もっとこうの方がいいと思うところから。

佐藤／はい。今の伊達町には町のシンボルがないような気がします。桃などの特産品以外に、町独特の“何か”があるといいと思います。具体的には思いつかないんですけど…。

小野／僕は伏黒地区に住んでいるんですが、伊達地区に比べてお店の数が少なくて、買物の時はちょっと不便です。気軽に行けるお店が伏黒地区にももっとできて欲しいです。

絢／私は時々道に落ちているゴミが

井石真由さん 中学3年生
生徒会副会長。只今ワープロを使った創作に夢中。



町長と話そうよ。

中学生の目から見たふるさとの姿とは……？ 伊達中学校の4人の生徒さんと町長とが、伊達町について語り合いました。

